

◎市の概況

市の地理

可児市は、岐阜県の南部に位置しており、名古屋市や岐阜市から30km圏内にある。市の北部は木曽川が流れており、平坦な地形が続き市街地が広がっている。南部は丘陵地で県下最大級の工業団地が存在し、住宅団地やゴルフ場などが点在している。また、市を東西に流れる可児川や中央部に広がる田園地帯、西部の鳩吹山など、豊かな自然環境があり、住環境に恵まれた地域となっている。

昭和40年代後半からは大規模な住宅団地の開発が進んだことで、名古屋都市圏のベッドタウンとして注目され、人口が急激に増加し、それにあわせて都市化が進んだ。平成17年には旧兼山町と合併が行われたことで人口が10万人以上の市となった。

都市間を繋ぐ交通として、国道21号、41号、248号などの幹線道路がある他、東西に名鉄広見線、南北にJR太多線の鉄道が走っている。また、市内には路線バスや自主運行バスである「さつきバス」や「電話で予約バス」、「おでかけしよKar Kバス」が運行されている。平成17年には東海環状自動車道の可児御嵩IC開通により、交通アクセスが向上したことで、工場や商業店舗などの建設が進んでおり、名古屋都市圏の一角をなす地域となっている。

近年では、リニア中央新幹線トンネル新設や東海環状自動車道4車線化工事が着工され、交通網の整備が進められている。また、令和2年度から開発が始まった（仮称）可児御嵩インターチェンジ工業団地の分譲が開始され、さらなる工業の発展が見込まれる。

面積 87.57km²
広ぼう 東西16.6km
南北11.0km

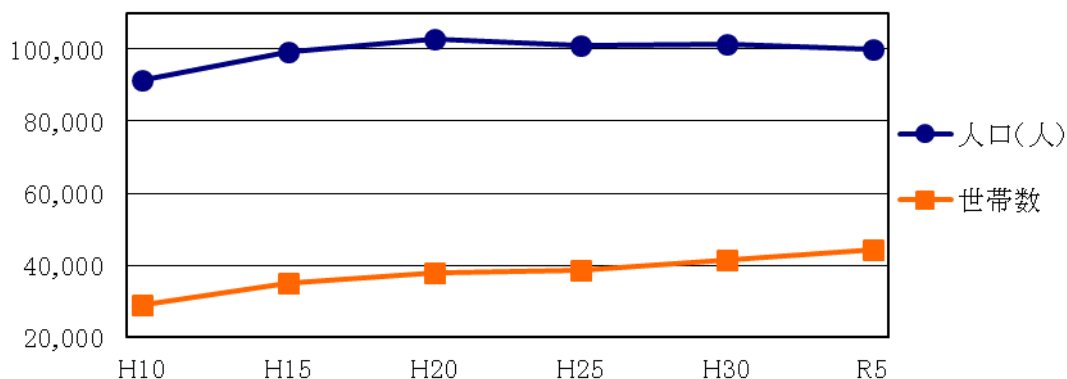


人口・世帯の推移

市の人口は、令和6年4月1日時点の住民基本台帳では99,826人である。平成20年をピークに令和2年からは緩やかな減少傾向にある。

世帯数は、令和6年4月1日時点の住民基本台帳では44,286世帯である。昨年度と比べて増加しており、1世帯あたりの人員数は核家族や一人世帯の増加により減少を続けている。（令和6年4月1日時点で2.25）

人口・世帯の推移



資料：住民基本台帳(4月1日時点)

産業形態

市内の従業者数は、令和3年経済センサス活動調査では46,250人となっており、産業分類別でみると、製造業、卸売・小売業、サービス業などの第2次及び第3次産業が就業者の大半を占める構造となっている。

産業分類別就業者

産業分類	平成18年（10月1日）		平成21年（7月1日）		平成24年（2月1日）	
	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数
総数	3,663	44,819	3,803	41,777	3,460	38,260
農林漁業	8	134	12	113	10	118
鉱業、採石業、砂利採取業	5	50	3	19	1	8
建設業	387	2,103	425	2,202	382	1,913
製造業	329	16,930	332	13,658	317	13,092
電気・ガス・熱供給・水道業	8	149	8	144	5	106
情報通信業	21	143	32	148	24	115
運輸業、郵便業	63	942	68	1,224	57	1,211
卸売業、小売業	924	7,165	877	7,001	779	6,411
金融業、保険業	54	397	61	678	63	687
不動産業、物品賃貸業	129	306	181	507	171	550
学術研究、専門・技術サービス業	...	...	165	768	160	763
宿泊業、飲食サービス業	503	3,356	502	3,687	469	3,420
生活関連サービス業、娯楽業	...	...	400	3,054	394	2,604
教育、学習支援業	235	1,944	229	1,985	179	822
医療、福祉	203	3,050	238	3,636	226	3,630
複合サービス事業	32	390	30	245	29	245
サービス業（他に分類されないもの）	730	7,207	207	2,108	194	2,565
公務（他に分類されるものを除く）	32	553	33	600	...	...

産業分類	平成26年（7月1日）		平成28年（6月1日）		令和3年（6月1日）	
	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数
総数	3,644	43,192	3,487	43,258	3,240	46,250
農林漁業	11	122	12	103	15	133
鉱業、採石業、砂利採取業	1	1	...	...	...	...
建設業	366	1,868	373	2,029	349	2,199
製造業	331	13,392	311	12,337	302	14,027
電気・ガス・熱供給・水道業	8	140	4	107	7	104
情報通信業	19	92	20	129	23	148
運輸業、郵便業	55	1,449	63	1,722	65	2,066
卸売業、小売業	821	6,690	802	6,623	676	6,573
金融業、保険業	61	661	55	638	53	635
不動産業、物品賃貸業	163	536	156	481	152	536
学術研究、専門・技術サービス業	167	700	173	730	168	1,016
宿泊業、飲食サービス業	506	3,754	486	3,779	399	3,006
生活関連サービス業、娯楽業	390	2,495	383	2,580	345	2,343
教育、学習支援業	215	1,832	169	1,037	178	1,786
医療、福祉	274	4,129	267	4,092	287	4,749
複合サービス事業	26	439	23	405	21	381
サービス業（他に分類されないもの）	199	4,335	190	6,466	174	5,741
公務（他に分類されるものを除く）	31	557	...	...	26	807

資料 事業所・企業統計調査、経済センサス

土地利用状況

市の土地利用状況は、農地が減少し、宅地が増加している。

土地利用状況（単位：1,000㎡ 各年1月1日現在）

地目		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和6年の割合(%)
田		7,035	6,840	6,773	6,706	6,646	7.59
畑		3,872	3,816	3,796	3,755	3,697	4.22
宅地		16,274	16,378	16,492	16,611	16,841	19.23
池沼		27	25	25	25	25	0.03
山林		21,677	21,595	21,536	21,502	21,506	24.56
鉱泉地		0	0	0	0	0	0.00
原野		1,336	1,330	1,327	1,325	1,329	1.52
雑 種 地	ゴルフ場の用地	7,008	7,008	7,008	7,008	7,008	8.00
	遊園地等の用地	0	0	0	0	0	0.00
	鉄 軌 道 用 地	232	232	247	248	248	0.28
	その他の雑種地	3,022	3,088	3,110	3,142	3,153	3.60
	計	10,262	10,328	10,365	10,398	10,409	11.88
その他		27,087	27,256	27,254	27,248	27,117	30.97
合 計		87,570	87,570	87,570	87,570	87,570	

資料：固定資産税[土地に関する概要調書]

用途地域と指定面積（令和6年3月31日現在）

種別	面積 (ha)	総面積に対する割合 (%)	用途地域に対する割合 (%)
総面積	8,757	—	—
用途地域指定面積	2,161	24.7	100.00
第1種低層住居専用地域	725	8.3	33.55
第1種中高層住居専用地域	116	1.3	5.37
第2種中高層住居専用地域	17	0.2	0.79
第1種住居地域	664	7.6	30.73
第2種住居地域	27	0.3	1.25
近隣商業地域	128	1.5	5.92
商業地域	40	0.5	1.85
準工業地域	84	1.0	3.89
工業地域	96	1.1	4.44
工業専用地域	264	3.0	12.22

資料：可児市都市計画課

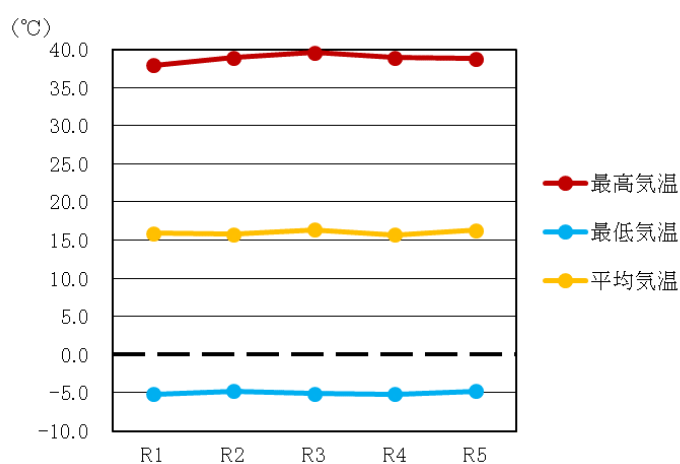
気象の概況

市は岐阜県の中南端に位置し、積雪は年数回程度で、温和な太平洋側の気候である。

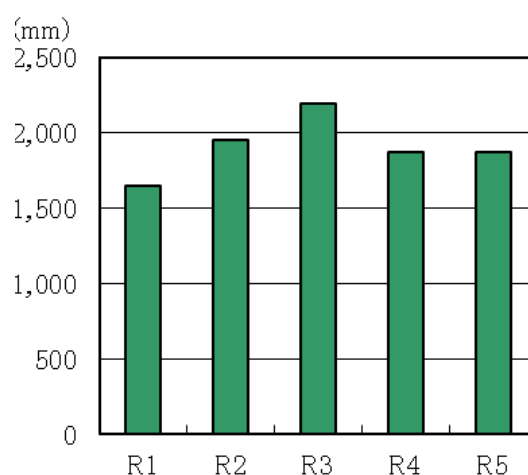
月別の気象状況（令和5年）

区分	気温(℃)			降雨量(mm) (月合計)
	平均	最高	最低	
1月	3.5	13.9	-4.8	26.0
2月	5.1	16.2	-4.0	49.0
3月	11.5	24.4	-0.6	91.0
4月	14.8	27.8	2.5	217.0
5月	19.4	33.4	7.6	251.0
6月	23.1	33.5	13.0	441.5
7月	27.9	38.8	20.5	172.5
8月	28.7	38.3	22.5	232.5
9月	26.5	35.4	18.2	113.0
10月	16.8	26.6	6.2	94.5
11月	11.9	25.8	1.6	103.0
12月	6.5	20.1	-2.8	79.0
年平均値 (降雨量は 合計)	16.3	27.9	6.7	1870.0

平均気温・最高気温・最低気温の経年推移



年間降水量の経年推移



資料：気象庁（美濃加茂観測所の測定値を引用）